

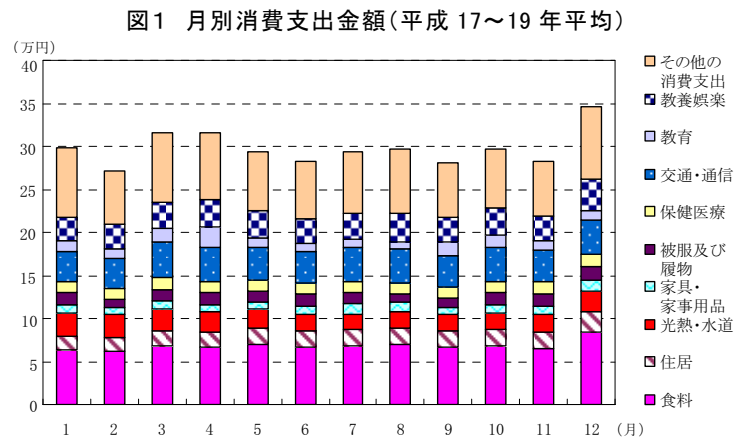
師走の消費支出

— 家計調査（二人以上の世帯）結果より —

今年もいよいよ残すところわずかとなりました。今月は師走の消費支出について、家計調査の結果からみてみましょう。

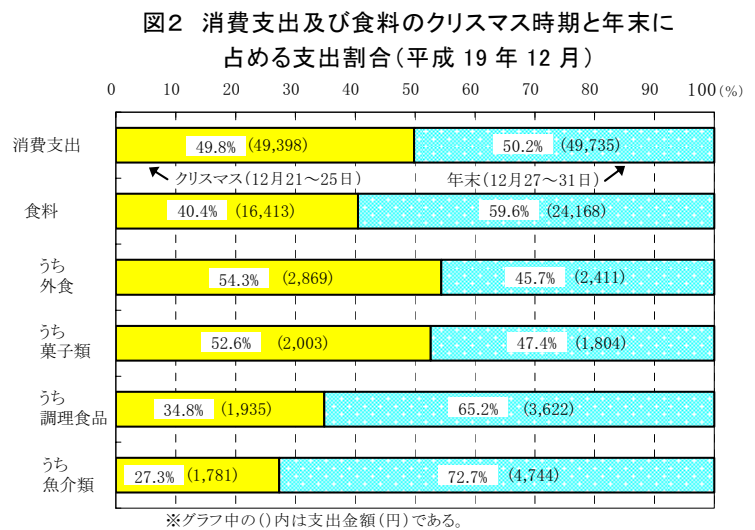
1年で最も支出が多くなる師走

1世帯当たり月別消費支出金額（平成17～19年平均）をみると、1年のうち12月は消費支出全体で最も多くなっているほか、食料、住居、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療、教養娯楽、交際費などのその他の消費支出においても、12月が最も多くなっています（図1）。



クリスマス時期に支出の多い外食、菓子類

次に、平成19年12月のクリスマス時期（12月21日～25日）と年末（12月27日～31日）の10日間に占める、各5日間の支出割合をみると、消費支出はほぼ50%ずつの支出割合であるのに対し、食料は、クリスマス時期が40.4%、年末が59.6%と年末の支出割合の方が高くなっています。しかし、食料のうち外食と菓子類をみると、年末よりも、クリスマス時期の支出割合の方が、それぞれ8.6ポイント、5.2ポイント上回っています（図2）。



品目によって違いが現れる師走の日別支出

最後に、もち、ケーキ、がん具^(注)及び遊園地入場・乗物代について、各品目の平成19年12月の1日平均支出金額を100とした日別の支出金額指数をみると、がん具は23日、ケーキは24日、もちは30日を中心に最も高くなっています。また遊園地入場・乗物代は、クリスマス前の16日の日曜日が最も高くなっています（図3）。

(注) テレビゲーム及び他のがん具の合計をがん具とした。

